2023/2/27
アルタベビー南柏園

保護者各位

「自己評価のご報告」

まだまだ寒い日が続きますが、園には毎日、お子さんたちの元気な笑い声があふれまるで一足先に春がきたように感じられます。

さて、先日はお忙しいなかアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集計ができましたので、まず「保護者アンケート結果」、次に「職員自己評価まとめ」、最後に「園としての自己評価」をさせていただき、ここにご報告申し上げます。

1.保護者アンケート結果に関して

「保護者アンケート結果」アルタベビー南柏園				回答率:31.82%
No	質問項目	はい	どちらともいえない	いいえ
1	当社の保育理念・保育目標について理解していますか	85.71%	14.29%	0.00%
2	職員はお子さんの気持ちを大切にしていると感じますか	85.71%	0.00%	14.29%
3	職員の言葉遣いや態度、服装等が適切だと感じることはありますか	100.00%	0.00%	0.00%
4	保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	100.00%	0.00%	0.00%
5	安全対策や感染症対策が十分取られていると思いますか	85.71%	14.29%	0.00%
6	お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったときの職員の対応は信頼できますか	100.00%	0.00%	0.00%
7	保育所で提供される食事・おやつはお子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	85.71%	14.29%	0.00%
8	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	100.00%	0.00%	0.00%
9	当園に満足されていますか	100.00%	0.00%	0.00%

項目１について

・８割の方のご理解をいただいておりますが、反面、２割の方に届いていないという現状がわかりました。保育理念や保育目標は、当園が目指す保育の軸といえるもので、職員はこの目標を軸として計画を立て、保育計画に落とし込み、お子さんの主体性を重んじながら、年齢に応じた保育（活動）を展開できるよう努めております。今後、保育理念や保育目標

を保護者の皆様がご覧になれるよう、玄関に掲示をし、届くよう工夫してまいります。

項目 2 について

・「いいえ」とお応えになられた方が、全体の 14%いらっしゃいました。申し訳ございませんでした。今一度、職員全員がお子さんへの関わり方を振り返る機会を設け、お子さんの気持ちを更に大切にした保育の改善に努めてまいります。尚、不快に思われた際は遠慮なさらず、その場で施設長・副園長等にお声かけください。

項目 3・4 について

・「はい」とお応えしていただき、ありがとうございました。今後も保護者の皆様にご満足していただけるよう、努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

項目 5 について

・「どちらともいえない」とお応えになった方が全体の 14%いらっしゃいました。感染症対策については、新型コロナウイルスを始め、様々な病気の感染症予防のため、保護者の皆様も気を付けて行動していることだと思います。今年度は、7 月に手足口病、ヘルパンギーナが流行しました。また、12 月にウイルス性胃腸炎が流行し、保護者の皆様に、大変ご心配をおかけし、申し訳ございませんでした。感染症が流行した時の対応方法や園内消毒等、今一度振り返り、改善に努めてまいります。安全対策につきましては、ヒヤリハット報告や事故・怪我が起きた際の報告書を職員で周知し、同じ事が起こらないよう、徹底をしてまいります。

項目 6 について

・「はい」とお応えをいただき、ありがとうございました。そして、お子さんの体調が変化した際に、早めのお迎えのご協力をありがとうございます。今後も、保護者の皆様にご心配をおかけしないような対応をしていけるよう努めてまいります。また、お声をおかけした場合は、ご理解とご協力をお願いいたします。

項目 7 について

・「どちらともいえない」とお応えになった方が全体の 14%いらっしゃいました。当園の給食で使用する食材は原則として、国産のものを使用し、旬の食材を使った食育活動を毎月取り組むようにしています。また、変化に富んだ内容のサークルメニューの提供を心掛け

ています。お子さんが食育活動に更に興味を持つこと。そして、毎日の給食やおやつが更に楽しみになり、保護者の方に「おいしかったよ」と伝えられるような給食を工夫してまいります。

項目８について

・「はい」とお応えをいただき、ありがとうございました。
今後も、保護者の皆様のご意見やご相談内容に耳を傾け、ご満足をいただけるよう努めてまいります。今後も何かありましたら、お気軽にお声をお掛け下さい。よろしくお願いいたします。

項目９について

・「はい」とお応えいただき、沢山のお気持ちをありがとうございました。アルタベビー南柏園は 0.1.2.歳児クラスのみの保育園となり、保育空間も、どこのクラスにいても、園全体が見渡せる環境となっております。職員は担任制にはなっておりますが、担当クラスだけではなく、全園児の先生であることを心掛け、日々の保育にあたっています。今回のアンケートで様々な発見がありました。今ある環境を活かしながら、今後もお子さん一人ひとりを大切にお預かりさせていただきます。

2.職員自己評価に関して

・常勤職員に実施をした自己評価のまとめです。今年度は 4 項目について、各自が一年を振り返り、自己評価を行いました。一年一年をそれぞれが振り返り、今後も互いに刺激をし合い、また協力をし合いながら行っていきたいと思います。

当社姿勢目標の順守に関して

・対職員での丁寧語は年齢、経験年数、立場など関係なく使用し、常に相手に対して敬意を持って接するようにした。
・報告期限、提出書類はしっかり順守し、提出期限に終わらない仕事があった場合には、しっかりと報告をし、できる限り早めに提出するようにした。
・シフト制のため、自分がいなかった時間帯や、逆に他クラスの担当者がいなかった時の子どもの様子や連絡事項を意識して報告するようにしていた。
・複数担任だったので、子どもについての気づいたことや保護者とのやりとりを担任同士

で共有ができるよう、報告・相談・連絡を意識し、コミュニケーションを密にとれるようにしていた。
・気持ち良く働けるよう、挨拶やお礼などを伝わるよう、声を出すことを心掛けた。
・他クラスの先生がいなかった時の連絡事項を簡潔に伝え、伝わりやすいように意識をして話をするようにした。
・自分や他の先生が気持ちよく働けるよう、挨拶やありがとうございます等の言葉を、一人ひとりにきちんと伝えることを意識した。
・服装や身だしなみを整え、言葉遣いや挨拶をしっかり行うように心掛けた。
・報告・連絡など、漏れのないように行うよう意識した。
・玄関から保育室すべてが見渡せる環境になっているため、常に清潔を保つようにした。
また、収納を確保、保育士が動く動線に何がどこにあると便利や無駄な動きを省けるなどを考え、保育室内の環境構成を行うよう心掛けた。

コドモンを用いた保育計画に関して

・日々の日誌や前月の月案、年間の計画など、全てがすぐに見られる状態になっているため、一つ一つを見返しながら計画を立てることができた。
そして、現状の子ども達に合わせ、先を見通した計画の作成ができた。

・日々の保育の中で、立ち返りたい、参考にしたいと思った時に、年間計画、前月、前々月の計画等、手軽に見られるのが良かった。
・年間計画や月案を手軽に見返すことができるので、振り返りや反省がしやすくて良かった。
・月案や週案、個別案などの反省等を見返しながら、次の月の計画を考えて計画を立てることが出来て良かった。

保育の成果集(Libro)に関して

・成果を読んだり、入力する中で、どのような点が良く、今後どう続けていくのが良いかが良く見えた。
・他の先生方や他園の成果も見る事ができ、自分と同じ経験をしている方がいることも共感することができた。
・子ども一人ひとりに合わせた保育の工夫を、より意識して考えるようになった。
・子どものできるようになったことを細かく記録することで、一人ひとりの特性をよりポジティブに捉えることができた。
・保育の成果集の記入を見て、自分では思いつかなかった配慮や活動等を数多く見る事が

できて、今後の保育の幅が広がった。
・園での成果集を先生方と話し合ったり、共有することが出来て、素敵な取り組みだと感じた。

子どもとの正しい接し方(Luce)に関して

・月に一度、振り返りをする中で、自分のできている部分と、これから改善していくべき部分がよくわかり、より良い保育につなげていくことができた。
・対話を意識し、子どもの気持ちに寄り添った保育をすることができた。
・健康状態や機嫌に合わせ、個人のペースを大切に、心地良く生活できるよう配慮した。
・自分でできることがどんどん増えていく時期なので、自分でやりたいという気持ちを大切にしつつ、達成感を得られるように援助した。
・一人ひとりの子ども達に寄り添い、子ども達同士の気持ちを尊重しながら保育をする様に心掛けた。

3.園としての自己評価に関して

当社（全園共通）の保育理念（国際人を育成する）に関して

・ＳＤＧｓへの理解を目指すプロセスとして、お散歩時に、自然に触れて遊ぶことを意識して保育することが出来ていたと思う。特に秋はどんぐりや落ち葉などの自然物に積極的に触れて遊んだり、2 歳児クラスの子ども達は夏に虫を見つけて、観察を楽しむ様子が見られた。
・室内では昆虫の絵本を準備し、見ながら虫の名前を話す様子もあり、興味が低月齢のクラスにも広がったように感じた。
・市からチューリップの球根をいただき、植える体験をすることで、大きくなっていくことを楽しみに観察を続ける様子もあり、生き物を大切にする気持ちも育むことができた。
・今年度は自然環境についての活動は多く取り組むことができた。来年度は環境保全以外にも保育現場で常に使用している、絵本や紙芝居で伝えることを多く取り入れていきたい。

当園の保育目標に関して

・南柏園では、食育・体育（＋睡眠教育）・知育・徳育・ＳＤＧｓの 5 項目の目標を設定し今年度も保育を行ってきました。

食事に関して

・4 月の始め頃は食事に対しての興味・関心がもてず、ほとんどのおかずが食べられない様子の子も何名かいたが、毎日いろいろな形
（おにぎりやはさみで小さく切る）にして、提供する中で、食べられる物が多くなり、残飯が減った。食べられたことに喜びを感じる様子も見られている。

体育に関して

・体育の点では、0 歳児クラスでは、それぞれの発達に応じて、身体を動かせるよう配慮し、散歩に歩いて行く、カートに乗って行く、散歩先でシートの上に座って自然物を見たり、触れるなど、行っていけた。1.2 歳児クラスも、散歩先で遊具を使って遊ぶ経験や、たくさん走ることを楽しむなど、身体をしっかり動かして楽しむ経験を行えた。
・室内では、トンネルやボールを使って身体を動かすなど、心地良い疲労感が持てるように活動を行ったが、2 歳児クラスの子どもは特に、室内遊びの日はなかなか睡眠に入れないことや、早めに起きてしまう様子もあったため、来年度はもう少し、室内遊びの提供の仕方も考え、一人ひとりが充分に遊び、心地良く睡眠に入れるように考えていきたい。

知育に関して

・知育の点では、手先を使った遊びを取り入れた。初めはクラスごとに同じ活動をしていたが、一人ひとりの発達で見直す中で、それぞれに合わせて提供することができた。
（クラス全員が紐通しをするのではなく、自分で紐通しを行う子、保育士と一緒に紐通しを行う子、紐通しではなく、洗濯バサミ遊びやパズルなど、子ども一人ひとりが行いやすい活動で、十分に手指を動かす経験をしてみるなど。）

・2 歳児クラスでは、当番活動や、朝の会で日付を答えるなどの中で、数字に触れていくことができた。そして、1 歳児クラスは、冬頃から身の回りのことを自分で行う経験を取り入れ、意欲を持って取り組めた。0 歳児クラスは後半からではあるが、全員でお壁に座り、散歩に行く準備や、全員で絵本を見る機会を多くし、特に挨拶の言葉や返事の様子など、身近な言葉を知ることができるような物を中心に読み聞かせをしていくことができた。

徳育に関して

・新しい遊びに入る前には、約束事を必ず伝えていく中で、このような場合はどうするのかなどの保育士の語り掛けに、子ども達が答える様子が見られた。
（お友達が使っている玩具を使いたい場合は「かしてする」など）
実際の場面では、それでも「かして」と言えずに取り合いになることもあったが、その際

は一度ずつ嫌だったことを伝え、約束の確認をした。
・様々な関わりの中で「ごめんね」「ありがとう」など、お互いを思いやり感謝をし、共感し合う気持ちも大切にするように取り組んだ。
・朝夕の異年齢児保育を行う中で、0 歳児クラスの子に対して、頭を撫で、物を貸してあげるなど、優しくする気持ちを感じる場面が多くあった。
　最後に全体に目標にしていた部分は様々な取り組みを通して行っていけたと思うが、不十分な点があった。
・2 歳児クラス　体育睡眠教育（身体を沢山動かし、良い睡眠をとる）
・1 歳児クラス　徳育目標（人との関わりを通し、社会生活における望ましい習慣を学ぶ）
・0 歳児クラス　知育目標（手先を器用にする遊びをする）
この 3 点においての達成度が低かったと感じたため、来年度は強化していけるように取り組みたい。